

地平線

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部機関誌

2023年7月19日 383号

全日本港湾労働組合関西地方建設支部

〒552-0021

大阪府大阪市港区築港1-12-27

電話 06-6572-2105 / FAX 06-6574-5648

kensetsu @ crux. ocn. ne. jp

30度を超す気温になってきました。
向こう1か月半ほどは、35度以上の猛暑日との戦いになりそうです。
熱中症と増えてきている新型ウイルス、インフルエンザに気をつけて
夏の坂や峠を越えて秋をつかみとりたいものです。

夏の一時金と職場改善の団体交渉はだいたい終わってきています。

あとは8/1（火）の樋口商店分会と西成分会の大阪府交渉が予定されています。今年夏の一時金の回答は昨年並みで、分会によっては昨年より下がる回答もありました。

光熱費はじめ物価高・インフレの波が押し寄せてきていて生活の苦しさ困難さは増していますが、経営側も大企業のようにボロ儲けしているところはなく、建設支部としては、厳しい回答内容になりました。

各分会とも、引き続き職場の安全衛生の点検や改善をめざして活動を続け、適時、職場要求を出したり、11月の秋季・年末交渉の時に、継続する活動の成果を反映させていくよう動いていきたいと思います。

自然は、二酸化炭素（CO₂）が増え、地球を取り巻く「大気」のなかで二

酸化炭素が熱を閉じ込め、宇宙に熱を逃がさなくて「温室効果」になり地球が温暖化になるといわれています。

猛暑の真夏日の中、新型コロナウイルスは、お盆や夏休みをひかえ増えているといわれています。

街中や地下鉄では、マスクも3割ぐらいは着けなくなってきました。しかし、目には見えない原子レベルのウイルスですが、手洗いうがいなど健康を守る動きは続けていきたいものです。

世界は、ウクライナの戦場をはさみ第三次世界大戦の構や陣形が生まれつつありますが、日本の政治の流れは夏を飛び越えて秋と臨時国会・総選挙に向け動いているようです。

今、岸田内閣の支持率が下がっていると報道されている。新聞・テレビなど大手のマスメディアは余り岸田批判をしていないのに下がるのは何だろう。山本太郎の

れいわ新選組などの呼びかけで6, 7月大阪で2回ほど集会・デモがあったという。旗印・スローガンは「増税反対!」のようだが約700人ぐらいがデモに参加したと報道されている。

みんなの生活実感からの怒りと批判が生まれて来ているのだろう。物価高、インフレの生活苦、増税の不満、軍

国化への不安。そして新しいデジタル社会。スマホやケイタイでの交流。新しい日本社会のうごめきが生まれてきているのだろうか。日本も不安定な地球の気流に巻き込まれていき、秋・年末の政治の季節、選挙でのたたかいになっていきそうです。小さい動きでも今から、地歩をつくり固めつつ生きていきたいものです。

今後の予定

- 7/24 (月) 18:00 堺化学・団体交渉
- 7/27 (木) 18:00 弁護士相談会
- 7/29 (土) 18:15 朝鮮戦争休戦協定70周年集会
(エル大阪)
- 8/ 1 (火) 9:30 大阪府交渉 (西成分会)
19:00 樋口商店分会・団体交渉
- 8/ 2 (水) 13:30 地本執行委員会
- 8/ 3 (木) 15:00 ユニオンネット運営委
- 8/ 5 (土) 13:00 労弁賛助交流会 (PLP)
- 8/ 7 (月) 18:30 支部執行委員会
- 8/14~8/16 地本会館休み
- 8/24 (木) 11:00 西成・建退共総会 (センター)
- 8/25 (金) 15:00 ユニオンネット運営委
18:30 ユニオンネット総会 (エル大阪)
- 8/28 (月) 13:30 地本執行委員会
- 8/29 (火) 9:00 地本第78回定期大会 (~8/30)
- 10/ 1 (日) 10:00 支部第51回定期大会 (PLP)
- 10/27 (金) 18:00 地本60周年記念集会 (弁天町・ベイタワー)

建設
支部
H
P



大椿ゆう子さんを 励ますに参加しました

飯塚淳平

7月8日にPLP会館で行われた「社民党・大椿ゆう子さんを励ます会」に参加しました。労組、ユニオンネット、人権派団体、個人など約150名の参加でした。

サブタイトル

「クビを切られた非正規職労働者、ついに国会へ！」

※2019参院選で社民党の比例当選をした吉田ただとも前参院議員（現在立憲民主党）が今年4月の参院大分補選に立候補するため辞任、それに伴い社民比例名簿に残っていた大椿さんが繰り上げ当選しました。

国政報告では、所属の農林水産委員会はテレビでみる他の委員会とは少し違いやや牧歌的であることや、採決にあたっての「会派の壁」、お金の話もしてくれま

した。

「国会って、もう少し人の幸せのために法律を作ってる場所だと思っていた。岸田政権がやっていることは、人を不幸にする法律ばかり。無表情で淡々と悪法を通す。やっていることは安倍政権よりも酷い。」

という発言が印象的でした。

応援スピーチでは、色んな生業やアイデンティティを持って生活している女性が多く登壇され、大椿さんらしさを感じました。発言者以外は大きなバナーが用意されていたので、各自思いを付箋に書いて貼り出しました。私は、賃上げは勿論ですが公課公租を減らして現役世代のお金と時間（人生）を取り戻そう！と書きました。アンチ？の方がお一人来ていて



発言されていましたが、反論とともに集会後にきっちり対話の場を持つことを約束されていました。

久しぶりのこういった集会参加でしたが、同じ志を持つ個人個人どうしの繋がりに感動しました。最後に本人が連呼されていた言葉を。

「大椿ゆう子はこの1議席を、徹底して労働者のために使います。使ってください！」

★ご本人及び「大椿ゆう子を推す会」は、twitter、facebook、Instagramで日々情報発信されていますので覗いてみてください。

北海道の黒曜石が国宝に

最近、日本国の国宝について発表があった。

今まで、一番古い時代の国宝は、「火焰型土器」「土偶・縄文のビーナス」など前3000年〜前2000年の縄文土器・土偶だった。

今年の6月27日、北海道遠軽町の「白滝遺跡群」から出土した黒曜石の石器などが国宝に指定された。包丁や刃物として使った36センチの先端の尖った石器などだという。

約3万年〜1万5000年前の後期石器時代のものだという。考古学、歴史学、地球学、物理学など科学者たちの活躍と科学の発展の成果であるだろう。

7月3日より地元では「国際黒曜石学会」が開かれ黒曜石や石器時代の国際交流が進められた。



出土した石器

1945年（昭和20年）より昔、戦前の日本では、天皇が神であり、天皇が日本の国を作ったのだという大日本帝国憲法（1889年・明治22〜1945年・昭和20）の基では、矛盾をおこし認められなかった可能性が高い。

歴史は人間の活動や科学の力により100年で一ミリぐらいは進化、前進しているのだろうと感じます。1万5000年前の黒曜石の石器が国宝になったことは嬉しいことです。